

令和6（2024）年度
廿日市市との包括的連携協定に伴う
地域連携センター活動報告書

山陽女子短期大学

地域連携センター



令和6（2024）年度地域連携センター活動報告によせて

山陽女子短期大学 地域連携センター長

新谷 奈苗

山陽女子短期大学に、広島県内の大学・短期大学に先駆けて、生涯学習センターが設置されたのは、平成元（1989）年のことです。平成24（2012）年には、さらなる機能強化を目指し、活動領域を広げた組織として、地域連携センターが設置されました。また、その翌年の平成25（2013）年には、廿日市市との間に「包括的連携協力に関する協定」が結ばれました。本協定を結んで早や12年、このような経緯で設置された地域連携センターは、現在、生涯学習部門、産官学連携部門、自治会部門の3部門が連携を図りながら、事業の運営を担っております。本学の特性と地域からの要請を踏まえて、事業を「1. 食と健康の増進」、「2. 教育・文化・生涯学習の推進」、「3. 地域の活性化・まちづくりの推進」、「4. 人材の育成」、「5. 環境活動の推進」、「6. その他の事業」の6分野で展開をしております。またこれら活動を支える学内の体制として、地域活動に関心を持ち、参画する学生の活動の安定を目指して、学内にボランティア委員会を設置し、教員は学生のボランティア活動のサポートにあっております。加えて次年度からの追加目標として、各ボランティア活動に明確な目的と目標を明示し、それを参加学生が達成できるよう、大学と地域が連携して学生の成長を支えるシステムを構築していきたいと考えております。

廿日市市との協定締結12年目にあたる本年度は、26事業の報告書がまとめられました。地域連携センターの活動は、廿日市、連携くださる組織のご協力によって運営できております。この先も地域の方々と連携を深めながら、本学と地域の、さらなる発展を目指したいと考えております。今後とも、山陽女子短期大学地域連携センターの活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年度 山陽女子短期大学地域連携センター事業一覧

1. 食と健康の増進

整理番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
1-1	高齢者対象 栄養と健康	4月	ハイジの会	吉村	
1-2	保健指導関連事業	6月	五師土会	吉村	
1-3	地域のサロンでの栄養指導	7月	廿日市市内	吉村	
1-4	子供対象 食育クッキング	8月	地御前市民センター	吉村	
1-5	地域のサロンでの栄養指導	9月	廿日市市内	吉村	
1-6	高齢者対象 栄養と健康 「脳のフレイル予防のための食事」	12月	廿日市市活動センター	吉村	
1-7	子供対象 食育クッキング	12月	地御前市民センター	吉村	
1-8	高齢者対象 栄養と健康	1月	大野東市民センター	吉村	
1-9	廿日市市民活動センターフェスティバル	3月	廿日市市民活動センター	吉村	
1-10	地域のサロンでの栄養指導	3月	大野第2配食ボランティア勉強会	吉村	

2. 教育・文化・生涯学習の推進

整理番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
2-1	山陽女子短期大学公開講座	前期 6月～7月 PC 9月	廿日市市教育委員会 生涯学習課	金岡	
2-2	しちく学園	7月	佐方市民センター	金岡	
2-3	キッズ・アカデミー	7月～8月	廿日市市教育委員会	三島	○

3. 地域の活性化・まちづくりの推進

整理番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
3-1	「桶寿司」講習会	11月	廿日市商工会議所婦人部 (廿日市市郷土文化研究会)	津村	
3-2	「自転車ヘルメット着用促進」活動	1月	廿日市市市民・生活課	新谷	○

佐方 1	れんげ祭り	4月	佐方自治会	梅本	
佐方 2	とっさの時に役立つ筋肉トレーニング	6月	佐方市民センター	新谷	○
佐方 3	佐方夜市夏祭り	7月	佐方中央商店街・自治会	梅本	
佐方 4	一人暮らしの高齢者への食事の提供と食事指導	7月	佐方自治会	中野	
佐方 5	佐方地区親善盆踊り大会	8月	佐方自治会	梅本	
佐方 6	佐方地区敬老会	9月	佐方自治会	梅本	
佐方 7	さがたっこひろば	11月	佐方市民センター	松崎	
佐方 8	佐方地区とんど祭り	1月	佐方自治会	梅本	

5. 環境活動の推進

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
5-1	エシカル消費 (フードロス・バンク・ドライブ)	7月	友和市民センター	有吉	○
5-2	フードドライブ連携実施 はつかいち mottainai 大作戦	10月	廿日市市循環型社会推進課 (はつかいち mottainai 大作戦) 陽月祭でのフードドライブ	有吉	○
5-3	はつかいち環境フェスタ (未利用食材の利用)	10月	廿日市市	岡崎	
5-4	食品ロス対策セミナー (わが家のフードロスを考えてみよう)	1月	友和市民センター (佐伯連合女性会)	有吉	○

6. その他の事業

整理 番号	事 項	実施時期	連絡責任者		新規 ○
			地域	本学	
6-1	廿日市市消防団「機能別団員」	4月～1月	廿日市市消防署	小野寺	

事業報告

1. 食と健康の増進

【1-1】

ハイジの会

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	集団住宅の会での住民同士のつながり及び交流会、食事指導
共催団体名および共催の経緯	ハイジの会
年月日・開催時間	2024年4月13日 10:00~12:00
活動拠点	廿日市市阿品
参加人数	参加者：23名
活動内容	美味しい紅茶のいれ方をレクチャーし、テーブルコーディネートやティーパーティ（アフタヌーンティ）の解説を行い、実践した。その後、栄養の話をさせていただく。主に住民の方からの質問に答える形で対応させていただく。 主な内容としては ①高血圧の食事について ②コレステロールについて ③バランスの良い食事摂取について 以上を質疑応答の形で行う。
コメント	各々お気に入りのティーカップを持ち寄っていただき、いつもと違う雰囲気の下、美味しい紅茶を味わっていただき、6種類のスイーツバイキングで住民同士の交流を行っていただき、楽しく過ごしていただいた。栄養の話もすることが出来、参加者はとても満足されたいたご様子。



【1 - 2】

保健指導関連事業

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	ちょっとひと息 医療とふくしの相談室
共催団体名および共催の経緯	五師士会
年月日・開催時間	2024年6月20日
活動拠点	佐方市民センター
参加人数	参加者：10名
活動内容	栄養相談：2名の方 低栄養についての相談 子どもの食事についての相談（偏食） 各個人別対応の後、参加者からの質問に応える 主にたんぱく質の1日の摂取量及び摂取の仕方について説明する
コメント	「歯周病と疾患の関係について」歯科の先生よりミニ講座があり、とても私自身も勉強になった。五師士会の相談室では、医師、歯科医師、薬剤師、リハビリ士と多職種が集まり、相談を受けることでお互いの勉強にもなり、相談者の方々も安心して相談することが出来るため、継続が必要である。

【1-3】

地域のサロンでの栄養指導

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	地域のサロンでの栄養指導
共催団体名および共催の経緯	廿日市市地御前 民生委員 菱井さんサロン
年月日・開催時間	2024年7月1日 10:00~12:00
活動拠点	廿日市市地御前
参加人数	参加者: 18名
活動内容	バランスの良い食事について資料を基に説明する。「さあにぎやかにいただく」を1週間分記入していただき、御自分の食事をチェックしてもらい、摂取できていない食品に気づいてもらう。チェック後吉村が個人別1日に必要なカロリー及びたんぱく質量を計算し、コメント及び改善するための工夫などを記入し、返却する。(7名の方に)
コメント	地域の元気な高齢者の方々ではあるがそれぞれ食事に関して困りごとや相談があり、それらを傾聴し、少しでもお役に立つことでサロンならではの良さを感じる。

【1-4】

地御前 食育クッキング

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	地域での食育クッキング
共催団体名および共催の経緯	廿日市市地御前 地域安全及び人権擁護推進委員会
年月日・開催時間	2024年8月25日 10:00~13:00
活動拠点	廿日市市地御前市民センター
参加人数	参加者:18名 スタッフ:7名 合計25名
活動内容	<p>夏休み期間中に親子での食育クッキングを行った。</p> <p>今回は人権擁護推進委員会とのコラボ企画ということで、アジアの食を知ろう!というテーマに沿って「夏のクッキング アジア飯を作ってみよう」と題して、献立を考え、実習を行った。</p> <p>献立としては、ガパオライス(タイ) 生春巻(ベトナム) 粟米湯(中国) 豆花(台湾)の4品を作成し、試食した。幼稚園児も多数参加されており、とても賑やかな実習となった。</p>
コメント	<p>小さい頃から食に興味を持つことはとても重要であると今更ながら感じた。</p> <p>幼稚園児が包丁を使って食材を切ったり、フライパンで調理をするなど食に興味を持てる内容ではあったが、今回はアジア飯ということもあり、献立がどちらかといえば大人対応であったと感じた。参加者の年齢等を考慮する必要を感じたが、毎回年齢層が違う為対応が難しいところである。</p>



【1-5】

阿品サロン

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	サロンで食事提供
共催団体名および共催の経緯	阿品清鈴園 サロン
年月日・開催時間	2024年9月10日 9:00~14:00
活動拠点	廿日市市 阿品清鈴園
参加人数	参加者:8名 スタッフ:4名 合計12名
活動内容	<p>毎週火曜日に行われている阿品清鈴園での食事作りボランティアに参加した。今回は昼食バイキングを楽しんでいただこうと企画し、17種類の料理を作成し、味わっていただいた。テーブルコーディネートも少しだけではあるが行い食事を楽しんでいただいた。</p> <p>主食としては ミニオムライス・ミニおむすび・カップ寿司・サンドイッチ 主菜としては 白身魚のフライ・しゃぶしゃぶ風・スパニッシュオムレツ 副菜としては 高野豆腐の煮物・ナムル・ポテトサラダ 汁物としては コーンスープ・吸い物 デザートとしては 市販のケーキ2種・パンナコッタ・フルーツ白玉・カップケーキ</p>
コメント	目で見ても楽しまれ、ついつい多く手に取ってしまいお腹がいっぱいになる方も多かったが、皆様喜ばれていた。日常を少し離れることで食欲もわくと感じる。たくさんの方々と食を共にする事こそ元気の源であると感じる。



【1-6】

みんなの健康教室

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	脳に良い食事について理解し、実際に調理する
共催団体名および共催の経緯	廿日市市地域包括ケア推進課 NPO 法人廿日市市五師士会 廿日市市市民活動センター
年月日・開催時間	2024年12月6日
活動拠点	山崎本社みんなのあいプラザ2F 調理室
参加人数	参加者：32名
活動内容	脳に良い食事についてレクチャーし、その後脳に良い食材を使用して調理実習を行った。32名の参加者であった。 まず、ブレインフードについて話し、その効果、主なブレインフード、脳活の効果を高める食べ方のポイント、食を楽しむ工夫について話を行った。 本日のメニュー 1 秋刀魚缶の炊き込みご飯 2 鶏むね肉のポン酢かけ 3 アボガドサラダナッツドレッシングかけ 4 ほうれん草の胡桃和え 5 豆乳味噌汁 6 バナナ入り白玉団子黒蜜かけ 7 ムースオショコラオレンジ
コメント	6台の調理台に5名ずつ以上の人数での作業であったため、作業が難しい場面もあったが、協力しながら、作業を行っていただき、ケガもなく無事終了することが出来た。参加者からは次の開催を待ち望む声が多数あった。参加して、良かったとの声が多かった。



【1-7】

地御前市民センター食育 調理実習

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	クリスマスの料理を作り、食の楽しさを伝える
共催団体名および共催の経緯	地御前市民センター 安全事業部
年月日・開催時間	2024年12月15日 9:30~14:00
活動拠点	地御前市民センター 調理室
参加人数	参加者:12名
活動内容	地域の小学生と一緒にクリスマスの調理を行うことで、行事食としての学びと調理を行うことでの食育を通し、食事を楽しんでもらう。今回はバイキング方式での食育。14種類の料理の内、実際には、8種類を作成してもらった。 ミニむすび・ミニオムライス・サンドイッチ・カナッペ(2種類)・鶏肉照り煮・スパニッシュオムレツ・ミニグラタン・唐揚げピンチョス・野菜サラダ・コーンスープ・コンソメスープ・オレンジゼリー・カップインケーキ・ミックスフルーツの14種類バイキング
コメント	今日初めて卵の殻をむいた! 今日初めて揚げ物をした! など子供たちが目を輝かせて、一生懸命調理を行っていた。また、出来上がった料理をおいしそうに食べ、楽しい時間を過ごすことが出来た。



【1-8】

学んでみよう介護のこと

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	介護に必要な高齢者の食事や栄養について 講義と調理実習
共催団体名および共催の経緯	大野東市民センター
年月日・開催時間	2025年1月23日 9:00~13:30
活動拠点	大野東市民センター
参加人数	受講者：14名
活動内容	「年をとってもこの地域で暮らしたい」学んでみよう！介護のこと 第3回介護生活のあれこれ（その2）ということで高齢者の食事について高齢者の現状、フレイルについて、高齢者の体の変化、高齢者に必要なエネルギー量やたんぱく質量、その計算方法について講義を行った。実際に介護食を作っておられる方も多い為、噛む力、飲み込む力に配慮した食事作りについての工夫について説明を行う。 調理実習は肉じゃがアレンジレシピや秋刀魚缶を使用した炊き込みご飯、みそ玉、味噌汁、豆腐を使用した白玉団子の実習を行った。
コメント	講義と調理実習の2本立ての為、時間がかぎられているため、時間に余裕がなかった。しかしながら、アンケートの結果では、おおむね好評だった。



【1-9】

廿日市市民活動センターフェスティバル

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	地域とつながる 活動をみんなで! ~つどう しりあう まじわる~
共催団体名および共催の経緯	青少年育成廿日市市民会議・青少年夢プラン実行委員会・NPO 廿日市市法人 廿日市障害者福祉協会・地御前地区自治会 など
年月日・開催時間	2025年3月2日
活動拠点	廿日市市市民活動センター
参加人数	イベント(全体): 約300名
活動内容	廿日市市市民活動センターフェスティバルにて、屋外物販を行う。炊き出し非常食と題し、バックッキングでの炊き込みご飯を実演し、販売した。収益金は義援金として能登へ。この炊き出しのレシピ作成、材料購入、事前準備、当日の実演販売、掲示物作成までを行う。当初予定では140食であったが、小雨での開催であったため、100食とした。すべて完売し、とても好評であった。中にはリピート購入されたり、熱心に作り方を聞かれる方も多数おられ、興味関心を持たれていることを認識した。
コメント	バックッキングのレシピ作りのために無洗米を購入し、何度も試作した。当初は鶏肉味付け缶詰を利用したレシピを考案したが、ごみの問題もあり、急遽長期保存できる味付け鶏そぼろを使用してのレシピに変更した。栄養科の先生方にも試食をお願いし、好評であったため、そのままこのレシピを採用し当日販売した。大好評であり、100食を完売した。



【1-10】

大野第2区配食ボランティア勉強会

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	大野第2区配食ボランティア勉強会
共催団体名および共催の経緯	大野第2区
年月日・開催時間	2025年3月17日
活動拠点	宮島コーラルホテル
参加人数	受講者：28名
活動内容	高齢期の食に関する講義 ①バランスの良い食事とは 5大栄養素を基本に 一汁三菜が基本 ②加齢による体の変化及び筋肉量の変化について ③80Go運動について ④高齢期に必要なエネルギー量とたんぱく質量について 実際にご自分の量を計算してもらう ⑤アミノ酸スコアについて ⑥たんぱく質の摂取法について ⑦おいしく安全に食べる毎日を支援するために送付先の住所 以上について講義を行う
コメント	毎月2回配食弁当を作成されている方たちなので、とても興味関心を持って聞かれていた。実際にご自分の1日に必要なエネルギー量やたんぱく質量を理解され、今後の参考にし、バランスよく摂取していきたいとの声が聞かれた。講義の内容がよく理解できたとの声も多かった。

2. 教育・文化・生涯学習の推進

【2-1 (1)】

第44回山陽女子短期大学公開講座（2024年度前期①）

吉村 真奈美(食物栄養学科)

目的または趣旨	「安心・安全な食と健康の知識」をテーマに2回シリーズで開催 第1回目は「フレイル予防～災害時にも使えるパッキングも取り入れて～」というタイトルで実施した。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年月日・開催時間	2024年6月29日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	参加者：36名
活動内容	フレイルを予防することは健康寿命の延伸につながる。フレイル、サルコペニアやロコモティブシンドロームについての関係性を示し、フレイルサイクルに陥らないためには、まず自分自身の現状を知ることが重要と考え、数種類のチェックリストをお示しし、「気づき」そして「行動変容」につながるよう講義を行った。オーラルフレイル予防をしっかりと行うことで食べれるお口づくりをまずしていただき、バランスの良い食事、たんぱく質の摂取方法、食事の工夫、1日の野菜量を知ることによってフレイル予防に取り組んでいただく。最後に災害時にも使用できるパッキングについても説明し、その方法や注意点をお話した。
コメント	資料が多く、内容もボリュームがあったため、早口になってしまったので、もう少し内容を絞ってお伝えすればよかったとアンケート結果をみて、反省した。チェックリストも4枚以上あったので1つでも講座の中でできればよかったと思う。資料に関しても今後もっと見やすいものにしていきたい。

責任者：金岡 敬子(人間生活学科)



【2-1(2)】

第44回山陽女子短期大学公開講座(2024年度前期②)

藤井 仁人(臨床検査学科)

目的または趣旨	「安心・安全な食と健康の知識」をテーマに2回シリーズで開催 第2回目は「風邪症状の検査・治療・予防～感染症研究者の私見～」というテーマで講義を行う。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年月日・開催時間	2024年7月6日 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	参加者：26名
活動内容	一般の方でも順番に説明すれば理解できるとの信念をもって、講義を構成した。ほとんどの風邪はウイルスが原因であるから、ウイルスの生活環の説明から始めた。ウイルスが細胞に感染するには受容体との結合が必要であり、ウイルスの症状や種特異性を決定していると考えられる。ウイルスと受容体との結合を阻害するのが、感染やワクチンにより生体内で産生される中和抗体であることも、生活環を基に考えると理解できる。インフルエンザのワクチンや薬についても解説を行った。
コメント	できるだけわかりやすい説明と資料を心がけた。 専門用語が難しかったとの感想の方も少数おられたようだが、講義内容を概ね理解いただけたようである。

責任者：金岡 敬子(人間生活学科)



【2-1(3)】

第44回山陽女子短期大学公開講座(2024年度PC①)

鵜根 弘行(人間生活学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年月日・開催時間	2024年9月3日 13:30~15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	受講者: 25名 サポート学生: 3名
活動内容	Microsoft Wordの基本操作と、Microsoft Excelと連携した差し込み印刷に関する解説と実習を行った。
コメント	実習中、サポートに入っていた学生スタッフから「実習の流れから外れた内容の質問を受け、対応に苦慮した」との報告を受けた。自身の操作技能を超えた質問でもあったことも、苦慮した理由の一つだったようだ。このような場合には遠慮なく私に引き継ぐよう、直前ミーティングで念を押しておくべきだった。

責任者: 金岡 敬子(人間生活学科)



【2-1(4)】

第44回山陽女子短期大学公開講座(2024年度PC②)

岩井 健吾(人間生活学科)

目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯	廿日市市教育委員会生涯学習課
年月日・開催時間	2024年9月4日 13:30~15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	受講者:25名 サポート学生:2名
活動内容	マイクロソフト社のPowerpoint(パワーポイント)を利用した画像編集方法について講義を行った。具体的には、画像調整機能(シャープネス、明るさ、コントラストの等の変更)、トリミング機能(画像の切り取り)、フォトアルバムの機能、の3つの使用方法について解説を実施した。本講座は、パソコン初心者想定しているため、極力キーボード操作を避け、マウス操作のみでできる演習を多く取り入れたことで操作難易度を下げた。また、学生サポーター、本学教職員及び廿日市市職員の方の多数サポートを受けて講義を実施できたため、大きな問題は発生せず、円滑に講義を進めることができた。
コメント	アンケート結果から、スマートフォンで撮影した画像をPCに取り入れる方法を知りたい、スマートフォンの使用方法を教えて欲しいとの声があったため、そのようなスマートフォンの操作に関する教室を開くのも良いと思われます。そのため、来年度においては、参加者はスマートフォンを持っている人に制限をかけ、講義形式ではなく、それぞれの疑問に個別に答えていくという案も良いかと思いましたが(より学生と参加者の交流することも期待されます)。

責任者: 金岡 敬子(人間生活学科)



【2-2】

佐方市民センター主催 公開講座「しちく学園」

高田 晃治(人間生活学科)

目的または趣旨	これまで「高齢者学級」として企画運営していた従来の七福大学スタイルを踏襲し、今年度より奇数月の第3木曜日に幅広い世代への教養講座として開催 「『困った人』は『困っている人』? - コミュニティでの困りごととの付き合い方 - 」というテーマで講義を行う。
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方市民センター 経緯：毎年1回、7月の第3木曜日に山陽女子短期大学教員が担当、3学科の先生が順番に公開講座を担当、今年は人間生活学科高田晃治が担当した。
年月日・開催時間	2024年7月18日 13:00～15:00
活動拠点	佐方市民センター
参加人数	参加者：5名
活動内容	「『困った人』は『困っている人』? - コミュニティでの困りごととの付き合い方 - 」と題して、佐方市民センターでの「しちく学園」にて地域住民を対象に講演し、質疑応答を行った。
コメント	内容について、精神医学的な問題を含めたため参加者のみなさんを戸惑わせたきらいがある。もう少し身近で誰にでもある問題を取り上げる方が良かったように振り返って思う。

責任者：金岡 敬子(人間生活学科)

【2-3】

キッズ・アカデミー

三島 清司(臨床検査学科)

目的または趣旨	将来を担う子どもたちが、観察や実験を通して科学に興味をもち、又探求の楽しさを身につける機会とする。(対象：小学4～6年生とその保護者)
共催団体名および共催の経緯	主催：山陽女子短期大学 後援：廿日市市教育委員会
年月日・開催時間	2024年7月27日、8月3日、8月20日 いずれも 13:00～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	7月27日：0名 8月3日：小学生10名、保護者9名 8月20日：小学生7名、保護者5名
活動内容	7月27日(土) 担当：人間生活学科 新谷 奈苗 教授 手についている”バイキン”はおちている？ ～バイキンがついたままの手でごはんを食べると病気になるよ～ 手洗いは日常生活において、衛生管理に必要な基本的行為である。実験を通して、その効果を最大限に発揮できる知識と技術を学ぶ。 8月3日(土) 担当：臨床検査学科 飯伏 義弘 教授 「さて、何が見えるかな？」 ～普通では見えない物が見えるよ～ 病院の検査で使用する超音波や顕微鏡を使って外観からは見えない物の中身や肉眼では小さくて見えない細胞を観察し、人体や検査の方法について学ぶ。 8月20日(火) 担当：食物栄養学科 岡崎 尚 教授 牛乳から作られるバター、チーズ、ヨーグルト 牛乳に含まれるタンパク質、脂肪、炭水化物をうまく使って作られる加工食品に、チーズ、バター、ヨーグルトがあります。では、どのような仕組みで作られているのでしょうか。科学の視点で体験する。
コメント	チラシを廿日市市内の全小学校に配布したが、1回目開催日直前であり、1回目の参加者はなかった。 2・3回目の参加者へのアンケートでは楽しく学べたとの回答であり、約半数が次回も参加したいとの回答であった。



3. 地域の活性化・まちづくりの推進

【3-1】

「桶寿司」講習会

津村 なみえ(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市に伝わる桶寿司の歴史を知り、復活した桶寿司のつくり方を学ぶ。
共催団体名および共催の経緯	主催：廿日市郷土文化研究会 経緯：郷土文化研究会正木様から重田先生に依頼があり、桶寿司文化の継承のため、2012年から毎年開催している。
年月日・開催時間	2024年11月29日 9:00～14:00
活動拠点	本学総合調理実習室
参加人数	学生：5名 食物栄養学科2年 栄養調理コース5名
活動内容	郷土文化研究会（正木（康）、吉岡、大塚、正木）の皆様4名にご協力のもと、廿日市市に伝わる「桶寿司」のつくり方を教えていただきながら作った。重石をのせて漬け込む合間によもぎ餅も作った。桶寿司とは何か、桶寿司を復活させたときのいきさつなどを聞きながら桶寿司をいただいた。
コメント	学生たちも質問や味見をしながら手際よく作っていた。郷土文化研究会の方たちが高齢になられており、この講習会もあと1～2年程度かもしれない。



【3-2】

廿日市市「自転車ヘルメット着用促進」活動に参画

新谷 奈苗(人間生活学科)

目的または趣旨	廿日市市の課題である「自転車ヘルメット着用促進」活動
共催団体名および共催の経緯	廿日市市市民・生活課、廿日市警察署、広島県環境県民局、中国新聞社
年月日・開催時間	2025年1月22日 13:00~15:00
活動拠点	ゆめタウン廿日市
参加人数	本学学生：5名
活動内容	廿日市市の永年の課題である「自転車ヘルメット着用率」の低さに気がつき、学生5名が自分たちにできることはないかと検討を行った。結果、ヘルメット着用率UPのために、ヘルメット着用の意識を高めるためのチラシ作りとゆめタウンでの実際の配布を行った。廿日市市市民・生活課、廿日市警察署、広島県環境県民局、中国新聞社も来場し活動を見守った。
コメント	学生は自分たちが作成したチラシが、廿日市市や広島市内でも広く配布されることで、自分たちが行った取り組みが、多くの機関から賞賛され、多くの市民の目に留まり着用率の向上に寄与できたことに、達成感を感じることができた。また買い物客にチラシを配布し説明することの難しさを学ぶことができた。



【佐方1】

さがたれんげ祭り

梅本 礼子(人間生活学科)

目的または趣旨	アイラブ佐方自治会コミュニティ事業行事への参加
共催団体名および共催の経緯	主催：アイラブ佐方自治会 共催：佐方市民センター
年月日・開催時間	2024年4月29日 9:00~15:00 (8:30~15:00)
活動拠点	城内 2 丁目 JR 線路沿い北側 空き地
参加人数	学生：16名 教員：2名
活動内容	会場内各部署の設営・整備・サポートスタッフ 会場内の清掃・整備
コメント	<p>廿日市市アイラブ佐方自治会による「さがたれんげ祭り」が小雨模様の中開催され、地域の小中学校生、地域の方々が参加されて賑わっていました。佐方地区の小中学校教員、市議会議員、県議会議員、平口衆議院議員も参加されていました。ステージなどのイベント雨天予報もあったので、中止となりましたが、テント下で行われる催し物・キッチンカー参加は予定通りに行われました。テント下ブースで行われる学校 PTA 役員、佐方市民センター、商工会、地域猫活動などでは、子供遊びコーナー・ドリンクコーナー・綿菓子コーナーなど大人も子供も学生も楽しく過ごしていました。</p> <p>はつかいちFMの実況中継も入り、来賓の方々やアナウンス担当で参加している中学生放送部を交えて、「さがたれんげ祭り」の雨模様の中賑わう様子と、その中で、各コーナーで活躍する「SANJO」ボランティアの様子も伝えてくれていました。</p> <p>雨勢が強くなり始めたので14時で閉会となりましたが、地域の多くの方々の支援と参加によって佐方地区の親睦を図れる有意義な時間となりました。</p> <p>「SANJO」学生ボランティアは開場から閉会まで、各担当の部署でサポート活動ができ、地域の方々と繋がり喜んでいただけたようです。</p>

責任者：室津 史子(学長)



【佐方2】

とっさの時に役立つ筋肉トレーニング

新谷 奈苗(人間生活学科)

目的または趣旨	地域の防災意識の向上
共催団体名および共催の経緯	佐方市民センター事業 「100歳体操」
年月日・開催時間	2024年6月11日 14:00~15:30
活動拠点	廿日市市佐方市民センター
参加人数	対象の参加者数：32名 参加学生数：4名（内1名は広島都市学園大学学生）
活動内容	<p>高齢者100歳体操の定期事業の中の1回として、Hiroshimaまもり隊サークルの本学学生3名と同サークルの広島都市学園大学学生1名の計4名で「防災筋トレ」を1時間程度実施した。はじめに昨今の自然災害の多さを示し、災害時に多くなくなっているのは後期高齢者であること、無事に避難できたとしても避難所での生活でストレスを感じ命を落とす方が多いことなどの説明をした。その後、逃げるためには「筋力」が必要であり、筋力は単に逃げるだけでなく、全身の機能にもよい影響を与えることを説明した。その後、逃げるための動作にどの筋肉が役立っているかの説明を動画で行いながら、具体的な体操を実施した。参加された高齢者の方々からは、「いつもの体操ではなく目先が変わって楽しかった。」「自然災害への備えの大切さが理解できた。」「筋トレは毎日少しずつ継続していくことが大切だと思ったので続けたい」との声があった。学生たちは資料作成の段階で、筋肉の働きと一つひとつの体操のメカニズムを学ぶ機会となり、また人前で話すことで、いい加減な知識では話せないという責任感を感じ、今後、健康教育を行う上でのよいスタートとなった。</p>
コメント	<p>一つひとつの体操が、どの筋肉を鍛えることにつながるのか、またそれが避難時のどのような力となるのかについて、動画を用いて説明を行いながら体操を進めた。体操の種類は多くできなかったが、自分たちが行っている体操がどのように具体的に役立つのかを知ることは、参加者にとっても学生にとっても効果的な学びにつながったものと感じられた。</p>



背中ストレッチ(広背筋)



【時間・回数】
・5秒キープを10回

【ポイント】
・わきの筋肉をのばす
ことを意識しましょう！

【佐方3】

佐方アイラブ自治会「夏祭り」

梅本 礼子(人間生活学科)

目的または趣旨	佐方アイラブ自治会後援イベント事業への参加「佐方夜市夏祭り」
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方中央商店会 後援：佐方アイラブ自治会・佐方市民センター
年月日・開催時間	2024年7月20日 15:00～22:00
活動拠点	廿日市佐方市民センター・佐方公園
参加人数	佐方地区住民 多数 学生：8名
活動内容	「夏祭り」会場準備 ・こども体験コーナー設営 ・受付：来賓・地域の方々入場確認 ・誘導：ステージ参加者控え所からの誘導 ・「ちびっこ遊び体験コーナー」サポート ・飲食・その他ブース：飲食ブースサポート
コメント	<p>天候に恵まれ、午後からは快晴白日の下で、17時頃から地域住民の多くの人出が賑わう中、佐方夜市夏祭りが開催されました。当学からは食物栄養学科岡崎教授考案のちびっこ遊び体験コーナー「スライムで遊ぼう!」を出店し、2・3歳のキッズから中学生前までの子供たちがひしめき合いながら、優しく声掛けしてくれる岡崎先生や近藤先生、山陽女子短期大学の先生たちや、ボランティア参加した学生と笑顔に包まれ暑い夏の夜、スライムで楽しんでいました。またステージ演目には、山陽女学園吹奏楽部の演奏や、廿日市市のジャズダンス、ダンスクラブ、ハワイアンズクラブなど多くのアイドルで溢れていました。山陽女子短期大学からは、会場受付や、ステージ参加者の誘導など至る所でボランティア参加する学生の姿がみられました。</p> <p>来賓には、廿日市市長、平口議員、新田市議会議長をはじめ、当学学長、近隣の小中学校長の方々をお迎えして、地域恒例の盛大に執り行われる夏祭りでした。川を越えた歩道にも人出の溢れる夏祭りでした。佐方アイラブ自治会の実行委員の皆さんから、本年も山陽女子短期大学の参画、ボランティア参加を高く評価していただいていたいました。</p>

責任者：室津 史子(学長)

【佐方4】

一人暮らしの高齢者への食事の提供と食事指導

中野 尚子(食物栄養学科) 近藤 三聖(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市佐方地区の一人住まいの高齢者に昼食の弁当を配布した。目的は、他人との関わりが少なくなっているコロナ禍に、一人住まいの高齢者の食事のサポートを行うこと、また食事の提供による食育を行う事で、健康な食生活を送ってもらうことである。		
共催団体名および共催の経緯	佐方アイラブ自治会 一般社団法人全国栄養士養成施設協会		
年月日・開催時間	2024年7月26日 11:00 お渡し		
活動拠点	本学 集団給食実習室 廿日市市佐方市民センター		
参加人数	佐方地区高齢者：70名	民生委員：10名	自治会役員：5名 計 85名
	学生：食物栄養学科栄養管理コース2年生 21名		計 23名
	合計 108名		
活動内容	2024年7月26日 11:00 大学に佐方アイラブ自治会担当者が到着・弁当のお渡し 《献立》 ・散らし寿司 ・天ぶら（キス、野菜のかき揚げ） ・高野豆腐とかぼちゃの煮物 ・デザート（水羊羹・オレンジ）		
コメント	地域の高齢者の方が楽しみに待っておられる、毎年の恒例事業となっており、学生にとっても貴重な体験となっている。		



【佐方 5】

佐方アイラブ自治会「佐方盆踊り」

梅本 礼子(人間生活学科)

目的または趣旨	佐方アイラブ自治会主催イベント事業への参加「佐方盆踊り」
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方アイラブ自治会
年月日・開催時間	2024年8月3日 15:00~22:00
活動拠点	廿日市佐方市民センター・佐方公園
参加人数	佐方地区住民 多数 学生：2名
活動内容	「盆踊り」 ・受付：来賓・地域の方々 ・飲食ブース：綿菓子・焼き鳥などサポート ・音頭踊り：櫓周りの子供などサポート
コメント	天候に恵まれ、午後からは快晴白日の下で、17時頃から地域住民の多くの人出が賑わう中、佐方盆踊りが開催されました。当学からのボランティア参加は食物栄養学科2年生2名で、飲食ブース（綿菓子担当）で奔走し、教員は飲食ブース全体の進捗、運営を担当しました。18時からは盆踊り櫓を囲み、小学生の太鼓隊（小学生12名）の音頭にあわせて、佐方公園に笑顔、笑い声が響き渡り、楽しく踊られていました。公園内には、子供遊びブースや景品当てブースも開設され、どのブースも家族連れ、小学生、中学生グループで賑わっていました。来賓には、廿日市市長、平口議員、新田市議会議長をはじめ、当学学長、近隣の小中学校長の方々をお迎えして、地域恒例の盛大に執り行われる夏祭りでした。佐方アイラブ自治会の実行委員の皆さんから、本年も山陽女子短期大学の参画、ボランティア参加を高く評価していただいていたいました。

責任者：室津 史子(学長)

【佐方6】

佐方アイラブ自治会「敬老会」

梅本 礼子(人間生活学科)

目的または趣旨	佐方アイラブ自治会主催イベント事業への参加「佐方敬老会」
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方アイラブ自治会・佐方市民センター
年月日・開催時間	2024年9月16日 7:00～13:00
活動拠点	廿日市佐方市民センター
参加人数	75、77、80、88、90歳以上の方 約100名 学生：5名
活動内容	「敬老会」記念品準備 ・佐方自治会からの記念品詰め合わせ ・受付：招待状、敬老会招待者の受付 ・記念品の渡し ・誘導：招待者の会場誘導 ・ステージ参加者の誘導 ・見守り：会場内の安全確認
コメント	廿日市市佐方地区在住の75、77、80、88、90歳以上の方を対象に、長寿をお祝いし、佐方地区の高齢者福祉の推進を図るために開催された敬老会であった。従来は200名を越す参加者があったが、対象者を限定し100名規模の開催企画となっていた。 敬老会では、受付（マスク配布・アルコール消毒・検温）支援、参加者等へのお土産準備袋詰め（約200名分）、会場ステージイベント誘導、会場見守りなど多くの業務をボランティア学生がご支援することができて、高齢者の健康福祉の集い、お祝いに携わることが出来ていた。5名の学生がボランティア活動に参加し、運営担当の自治会の方々との交流、会場見守りにて参加者への声掛けなど、山陽女子短期大学と地域との繋がり連携を感じれる機会となった。Sanjoボランティアの参加も高く評価していただけた。また、本学学生の菊地のかと教員の新谷とで「高齢者に向けた健康教育だより」を作成し、参加者に配布した。

責任者：室津 史子(学長)

【佐方7】

さがたっこひろば

下地 隆（食物栄養学科） 松崎 好（食物栄養学科）

目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして、さがたっこひろば（小学生対象の料理教室）にスタッフとして参加。
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方市民センター
年月日・開催時間	2025年1月11日 9：30～13：00 佐方市民センターにて下準備、実習、片付け
活動拠点	佐方市民センター
参加人数	小学生：17名 学生：4名
活動内容	市民センターにて材料の計量や下準備を行い、事前に作成したパワーポイントを使用して、当日使用する食材についての簡単なクイズを行った。下地准教授がデモンストレーションを行い、学生が各台に分かれて佐方地区の小学生17名と四色しゅうまいとエビマヨを作った。全員で試食後に片づけを行い解散とした。
コメント	食育クイズでは小学生に食品の栄養について楽しく学んでもらうことができた。また、調理実習では学生が教える立場となり、教えることの楽しさや難しさを味わうことができた。はじめはしゅうまい作りに戸惑っていた小学生も、最後には学生たちと一緒に笑顔で取り組んでいた。 小学生からは「どの料理も美味しかった」「また来年も楽しみ」といった感想をいただき、美味しい料理を作りながら楽しく学んでもらうことができた一日となった。



【佐方 8】

佐方アイラブ自治会「とんど祭り」

梅本 礼子(人間生活学科)

目的または趣旨	佐方アイラブ自治会主催イベント事業への参加「佐方とんど祭り」
共催団体名および共催の経緯	主催：佐方アイラブ自治会・佐方市民センター
年月日・開催時間	2025年1月11日 12:00~16:00
活動拠点	廿日市佐方市民センター・佐方小学校校庭
参加人数	約 200 名
活動内容	<p>「とんど祭り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付：地域の方々からの協力、参加料 来賓誘導 ・焚き上げ準備：飾り物受付、櫓準備 ・炊き出し準備・渡し：豚汁・焼き物調理・餅焼きなど
コメント	<p>大雪警報などが近日出されているにも関わらず、午後からは天候にも恵まれ快晴のもと、佐方小学校校庭にて令和7年とんど祭りが行われた。</p> <p>廿日市内でも佐方地区、平良地区の限られた地域で執り行われた。佐方小学校の小学生や保護者、佐方地区の住民の方々、佐方自治会のメンバー、近隣の町からの参加もあり賑わっていた。消防隊、消防車4台の見守りの中、前々日より竹竿で組まれている櫓に点火され、寒風を受けて竹の弾ける音とともに灯が燃え上がり、多くの方が持ち込まれた飾りなどはやし、お焚き上げが多くの人の見守る中、安全に執り行われた。</p> <p>山陽女子短期大学からは三連休、成人式を控えてなどから学生の参加は難しかったが、受付、協賛金集金、豚汁、串焼き、餅焼きなどの準備にあたり、開催のご支援ができた。来賓には、議員、廿日市市議会議員、廿日市地域振興課長、廿日市佐方自治会長、当学学長、廿日市佐方中学校長、廿日市佐方小学校長など多くの地域の方々がお見えになり、楽しんでいただけた祭りとなった。</p>

責任者：室津 史子(学長)

5. 環境活動の推進

【5-1】

エシカル消費事業協力

有吉 邦江（食物栄養学科）

目的または趣旨	廿日市市友和市民センターが実施するエシカル消費（フードロス・バンク・ドライブ）事業への協力
共催団体名および共催の経緯	佐方市民センター長を通じ友和市民センターから協力依頼があった。
年月日・開催時間	2024年7月24日 13:30～14:40
活動拠点	友和市民センター
参加人数	参加者：11名
活動内容	友和地区女性会が実施する食品ロス対策事業について、友和市民センター等が共催となり実施することになった。 このため、共催者・協力者となる友和地区女性会、友和地区公衆衛生推進協議会、廿日市市社会福祉協議会佐伯事業所、廿日市市佐伯支所のほか、廿日市市循環型社会推進課、人権・市民生活課等に対し、食品ロス対策についての概論を説明し、今後の活動を促進した。
コメント	その後4回シリーズで講座が開かれることになり、有吉は1月の講座を担当することになった。

【5-2】

フードドライブ連携実施 はつかいち mottainai 大作戦

有吉 邦江（食物栄養学科）

目的または趣旨	廿日市市、廿日市市友和市民センターが実施するフードドライブへの協力、廿日市市が実施する「はつかいち mottainai 大作戦」への協力
共催団体名および共催の経緯	廿日市市循環型社会推進課、廿日市市友和市民センターとの協議
年月日・開催時間	2024年10月
活動拠点	陽月祭、はつかいち環境フェスタ、心と心のハーモニーフェスタ
参加人数	学生：陽月祭3名、心と心のハーモニーフェスタ1名
活動内容	本学が行う陽月祭、廿日市市循環型社会推進課が行うはつかいち環境フェスタ、廿日市市社会福祉協議会が行う心と心のハーモニーフェスタ（それぞれ10月に実施）について、連携して実施することを、廿日市市の食に係る特設サイト「はつかいち mottainai 大作戦」でアピールした。
コメント	陽月祭は初年度ということもあり3名からの寄付にとどまったが、他の2か所では多くの食品の寄付があった。 次年度は、佐方市民センターにも呼びかけする。

ご家庭で使いきれない食品をお持ちください！

10月は「食品ロス削減月間」＝食品ロスの削減に関する理解と関心を深める月間です。廿日市市、山陽女子短期大学では、この月間の取組の一つとして、「フードドライブ」を実施することとしています。（ご寄付いただいた食品は、食品を必要とされている団体や福祉施設などに提供します。）

フードドライブとは

フードドライブとは、家庭や企業で余っている食べ物を学校や福祉施設などに持ち寄り、それらをまとめて、お隣の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動のことです。



図説書：「フードドライブ活用マニュアル」 山陽県生活環境文化政策課環境政策課山陽環境財団 令和3年3月

次の日程でフードドライブを実施しています。ぜひご家庭で使いきれない食品を会場にお持ちください。

日時	場所	備考
10月20日(日) 10時～15時	山陽女子短期大学 (廿日市市佐方本町1-1)	陽月祭(大学祭)会場
10月26日(土) 10時～14時	水と緑のまち さいき文化センター (廿日市市津田4218)	心と心のハーモニーフェスタ会場
10月26日(土) 10時～15時	グローバルリゾート総合スポーツセンター サンチェリー(廿日市市串戸6丁目1-1)	はつかいち環境フェスタ会場

ご寄付いただきたい食品

- | | | | |
|---|---|---|-------------------------------|
|  |  |  | ○ 賞味期限および食品表示が明記されているもの |
|  |  |  | ○ 窓口受付日から賞味期限又は消費期限が1ヶ月以上あるもの |
| | | | ○ 包装や外装が破損しておらず未開封のもの |
| | | | ○ 常温保存のできるもの |

【5 - 3】

はつかいち環境フェスタ

岡崎 尚（食物栄養学科） 藤原 久子(食物栄養学科)

目的または趣旨	廿日市市の開催する環境フェスタに参加し、大学と取り組みを紹介
共催団体名および共催の経緯	大学で行われる環境関連の活動を継続して紹介してきた。
年月日・開催時間	2024年10月27日
活動拠点	山陽女子短期大学
参加人数	学生：4名
活動内容	地域の未利用食材（あずき皮、壊れた生カキ）を活用したパンとお菓子の商品開発をパネルで紹介した。同時に、試作したカキベーコンエビを来場者に試食してもらい、評価を聞きとった。
コメント	来場者に大学の取り組みを紹介でき、カキベーコンエビについては好評価をいただいた。

【5-4】

食品ロス対策セミナー「わが家のフードロスを考えてみよう」

有吉 邦江（食物栄養学科）

目的または趣旨	佐伯連合女性会及び廿日市市友和市民センターが実施する食品ロス対策セミナー「わが家のフードロスを考えてみよう」への協力
共催団体名および共催の経緯	友和市民センターから協力依頼があった。
年月日・開催時間	2025年1月31日 13:30~15:40
活動拠点	友和市民センター
参加人数	参加者：70名超
活動内容	心と心のハーモニーフェスタで実施したアンケート調査結果などを交え、食品ロス対策の講義とともにグループワーク形式でセミナーを実施した。
コメント	グループワークは抵抗感があった方もいらっしゃったが、発表には熱が入り、座学部分を少なくし、グループワーク中心に行うのが方向性としては良いと感じた。



6. その他の事業

【6-1 (1)】

学生消防隊①

目的または趣旨	桜まつり
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年4月7日
活動拠点	木材港北 昭北グラウンド
参加人数	学生：4名
活動内容	消防団員募集広報、アンケート調査、写真撮影、補助
コメント	活動中、「頑張って下さい。」などの言葉をかけていただいて嬉しく思いました。また、もっと周りを観て動く力をつける必要があると感じました。今後も積極的に活動に参加していきたいです。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）

【6-1(2)】

学生消防隊②

目的または趣旨	大野みんなのまつり
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年6月9日
活動拠点	やまだ屋もみじファミリーパーク
参加人数	学生：3名
活動内容	消防団員募集広報
コメント	初めての参加でとても緊張しましたが、消防の方や女性消防団の方々が皆さんとても優しく、楽しく活動することが出来ました。今回の活動で新たに入隊して下さった方がいらっしゃったためよかったです。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）



【6-1(3)】

学生消防隊③

目的または趣旨	学生消防隊研修会
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年7月7日
活動拠点	廿日市市消防本部
参加人数	学生：8名
活動内容	消防署及び緊急車両設備見学、はしご車乗車体験
コメント	今回の活動を通して消防団についての理解が深まりました。統率力を高めるための系列だったり準備を万全にするための工夫や体制を見たり体験したりして貴重な経験ができました。大切な命を守るためにも消防団員という意識を持って活動していこうと思います。研修を通して、学生消防隊の一員であることの自覚と責任が芽生えました。地域のために活動している消防署の具体的な仕事内容や、活動風景を実際に目にすることができてとてもよい経験になりました。救急車が出動するまで1分もかかっていない姿を見て、日々の訓練や命を救うための試行錯誤が感じられました。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）



【6-1(4)】

学生消防隊④

目的または趣旨	夏の防災訓練&こども防火教室
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年8月26日
活動拠点	廿日市市中央市民センター大研修室 2階
参加人数	学生：2名
活動内容	防火教室及び避難訓練の補助
コメント	体に火が付いた時の対処法、火が燃える要素、家が火事になった時の対処法、消火器の取り扱い方など沢山学ぶことができました。自分も勉強しつつ、子どもたちの補助をするように動くことができたのでとても充実した時間になりました。参加後アンケートでは、楽しかったという感想が多くて良かったです。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）



【6-1(5)】

学生消防隊⑤

目的または趣旨	あいプラザまつり
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年11月3日
活動拠点	みんなのあいプラザ
参加人数	学生：1名
活動内容	救命処置体験コーナー補助
コメント	救命処置体験コーナーの補助として参加しました。たくさんの方が体験コーナーに足を運んでくださって、実際に体験してもらえてよかったです。 私たちも日頃からこのような練習を積み重ねることが大切で、有事に団結できる力を身に付けたいと強く思いました。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）

【6-1(6)】

学生消防隊⑥

目的または趣旨	廿日市自主防災訓練
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年11月10日
活動拠点	廿日市市中央市民センター
参加人数	学生：1名
活動内容	水消火器体験、ロープワーク体験
コメント	今回は初めての自主防災訓練で緊張しました。普段あまり接点のない1分団の方々と仕事をしましたが、スムーズに動くことができました。今までの経験が活かしてよかったです。

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）

【6-1(7)】

学生消防隊⑦

目的または趣旨	令和7年廿日市市消防出初式
共催団体名および共催の経緯	廿日市市消防本部
年月日・開催時間	2024年11月10日
活動拠点	廿日市市中央市民センター
参加人数	学生：1名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場パレード ・ 消防団員表彰 ・ 新入団員辞令交付 ・ 幼年消防クラブと消防車による綱引き訓練 ・ はしご車のデモンストレーション ・ 消防団による一斉放水
コメント	<p>廿日市市消防本部の職員や消防団員、幼年消防クラブの園児など合わせて約400人が参加しました。式典後には、幼年消防クラブと消防車による綱引き訓練や今年度更新整備したはしご車の展示、消防団による一斉放水が行われ、会場は多くの家族連れで賑わいました。</p> <p>今年も地域の安全・安心を守るため、学生消防隊として気を引き締まる思いになりました。</p>

責任者：小野寺 利恵（臨床検査学科）



令和6（2024）年度
廿日市市との包括的連携協定に伴う
地域連携センター活動報告書

2025年3月31日発行

発行者 山陽女子短期大学

地域連携センター

広島県廿日市市佐方本町1番1号

電話 0829-32-0909
